

地球惑星科学委員会IUGS分科会（第26期・第3回） 議事要旨

1. 日時：令和6年2月8日（木）16：30～17：40
2. 会場：オンライン会議（ZOOM）

出席：西 弘嗣、堀 利栄、上松 佐知子、大久保 泰邦、奥村 晃史、掛川 武、片岡 香子、木村 学、久保田 好美、黒柳 あずみ、齋藤 文紀、谷口 真人、中田 節也、益田 晴恵、北里 洋

審議開始前に追加会員の紹介があった（上松、片岡、久保田、黒柳）

3. 議事内容

（1）ICS小委員会追加委員について

分科会として、旧地質年代学小委員会より加藤 丈典、佐野 有司、奥野 充、佐藤 佳子、星 博幸の5名がICS小委員会委員に追加されることを承認した。また、併せてICS小委員会設置提案書の「委員の構成」の変更を承認した。第1回のICS小委員会における承認を持って正式な承認とすることが了承された。

（2）IGC2024への対応について

IGC2024（韓国釜山大会）の3rd circularにおける問題に関して、IUGS Presidentもしくは執行理事会向けにレターを送付し、文書として意見表明をし、分科会として声明を出すことを承認した。文書の内容については、非公式のメール会議で検討し、最終決定することとした。また国内関係者に対して、今回の議論の概要を送付することを承認した。

（3）年間行事の確認

IUGS選考委員候補者の追加選出が予定されているが、日本からは既に堀 利栄委員がバイスプレジデント候補であるため、追加の選考委員候補者は申請しないことを確認した。

（4）その他

IGC2024 国際評議員会（IUGS Council Meeting）への日本からの参加者については、リストを事前に提出した上で適宜対応することとした。

日本学術会議からの代表者派遣については、北里委員と掛川委員長の2名をIGC2024への派遣で申請したことの報告があった。

堀委員より、IUGSの倫理規定にGeopoliticsに関する内容を検討中である旨の報告があった。

IUGSのGeoheritage国際委員会の日本からの候補についての報告があり、次回以降の候補についての意見交換が行われた。

地学オリンピックについての情報交換が行われた。